

新型コロナウイルス感染症院内クラスターの収束に関するご報告

令和3年7月7日
医療法人あかね会 土谷総合病院
院長 土谷 治子

この度は、令和3年5月29日に当院で発生いたしました新型コロナウイルス感染症のクラスターにつきまして、多くの患者様やご家族をはじめ関係する皆様方に多大なるご心配をおかけしましたことを心よりお詫び申し上げます。

当院では、クラスターの判明後より、早期収束を目指して、保健センター等のご指導を受けながら全力で事態の収束に取り組んでまいりました。

6月21日にかけて実施したPCR検査での陽性者の確認を最後に、新たな陽性者は発生しておりません。関連する部署の職員・患者様につきましては最終接触から2週間にあたる7月4日~6日かけてPCR検査を行い、全員の陰性を確認することが出来ました。

その結果をもって、関係各所への相談・検討を行った結果、本日付けで「新型コロナウイルス感染症院内クラスター収束」と判断いたしました。

今後も、更なる感染予防対策を徹底したうえで、外来・入院の診療を継続していく所存でございます。

厳しい状況の中、ご協力いただきました各関係機関の皆様、ならびに励ましのお言葉やご支援を賜りました多くの皆様に心より御礼申し上げます。

患者様、ご家族の皆様には今までどおり安心して当院をご利用くださいますようお願い申し上げます。